



なお、新市建設計画をベースとして、10力年計画の基本構想および総合計画を平成19年度までに作成し、南島原市の今後の方向性を市民の皆様によりわかりやすくお伝えし、平成20年度から実施していけるよう計画を進めてまいります。

### ② 地域力を活かして自立するまち

新市は、若年層の都市部への流出傾向が続いており、中高生などは将来的な居住傾向もそれほど高くない状況です。最大の要因は働く場が不足していることであり、雇用の場の確保につながる産業振興策によって人口流出を抑制し、地域の活性化も実現されます。

これまでの企業や工場等の誘致による雇用機会の拡大施策も継続しながら、今後はいかに、地域資源を活かした産業の活性化を図ることが重要になります。

南島原市は、恵まれた自然環境並びに歴史的な史跡やキリシタン文化などの歴史風土を有し、魅力ある素材がたくさんあります。このような素材を活かして、観光を取り入れた交流事業を積極的に推進し、地場産業との連携強化を図り、起業支援策や新産業の創出を促進し、雇用機会の拡大に努めてまいります。

また、人口減少対策も重要な施策

### ⑤ 市民と行政の協働でつくるまち

新市では、様々な面で合併の効果を最大限に引き出すための行政の効率化が求められます。地方分権が進む中で迎えたこの合併は、行政基盤の強化と効率的な行政運営、そして市民と行政との役割分担を進めながら、連携を深めていくことが重要な課題になります。

市民と行政の協働による地域づくりを進めることは、新市の行政機構に対する市民の関心度が高まり、まちづくりや福祉の向上、教育の充実など、あらゆる分野において、各地域の実情や市民の声を大きく反映した計画づくりを行うことができます。さらに、光ケーブル等による情報ネットワークを整備充実することにより、まちづくりの情報発信拠点をづくり、その効果を高めることに努めてまいります。

また、行政事務の効率化、サービスの向上を図るために、全職員に市民の立場に立ったコスト意識を持たせ、農業体験や異業種体験の実施、あるいは、県や民間企業との職員間の相



であるため、その対策プロジェクトを立ち上げ、安全・安心な子育てができるような環境整備を図ってまいります。

### ③ 豊かな自然と共生する調和した「まち」と「いなか」

自然環境は作れるものではなく、守るべき財産です。豊かな自然環境は心と体を癒し、健康的な生活の源となります。山を守ることは海を育てることに大きな役割を果たし、私たちの生活を豊かなものにしてくれます。

残したい里山、守りたい景観、行ってみたい場所、体験したい自然など、自然の恵みを活かした里づくりを推進するとともに、総合的な取り組みとして、グリーンツーリズム（農村観光・休暇）、ブルーツーリズム（海の森づくり）、温泉ツーリズム（交流拠点づくり）のスリーツーリズムを提唱し、都市と農村の交流を促進し、「人」「もの」「情報」の往来を高め、しなやかにたくましく自立する地域づくりを目指してまいります。

もちろん、市民生活の利便性の向上は支援しなければなりません。いたずらに都市化を目指すのではなく、豊かな自然と共生する魅力的な「個性のあるふるさとづくり」の推進を図ってまいります。

互交流を推進するとともに、職員のアイデアを積極的に取り入れる市制ベンチャー制度の導入など、全職員の意識改革と資質の向上を図ってまいります。

### ⑥ 行財政の効率化

平成16年度から始まった三位一体の改革は、約4兆円の補助金を削減し、約3兆円の税源移譲を行うという到達点が見いだされました。しかし、地方からすれば不十分どころがあり、今後の財政運営に多くの課題と問題点を残す結果になっております。

そのため、地方ではこれまで以上に行政を見直し、更なる行財政改革が必要になります。今後、行政改革推進委員会を設置し、様々な角度からご意見をいただき、徹底した行財政計画を作成し改革に取り組んでまいります。

行政サービスの向上として、窓口業務の延長や休日窓口の導入も検討してまいります。

市単独の電算システム導入による経費の削減をはじめ、地域内リサイクルの構築によるゴミの減量化を図り、あわせて衛生経費の削減に努めてまいります。

### ④ 健康的で安心な「食」の産地

南島原市は、陽光きらめく温暖な気候と肥沃な大地に育つ農産物や有明海の水産物など、主要産業である農林水産業は豊富な生産物を供給してきました。また、歴史と伝統技術にはぐくまれてきた素麺は、全国的にも知られてきているなど、様々な特産品が生み出されています。

一方で消費者の「食」への関心が高まり、食材に対する厳しい目が向けられております。産地表示の義務化は、より安全な地域の選定につながるため、安心できる食材の提供は生産地の取り組みとして重要性を増しております。

今後は、激化する産地競争の中で安心・安全な食材産地として、「南島原市ブランド」の確立が必要であり、良質で安全なものとして付加価値を高め、競争力や販売力強化の取り組みを支援してまいります。また、大規模都市等にアンテナショップの開設やインターネットの活用による市場開拓を図ってまいります。

また、後継者の確保・育成につきましても、働く意欲と知識を高め、地域活性化の原動力として活躍できる人材の育成に努めてまいります。

## 18年度 予算編成の基本的な考え方

平成18年度通常予算の規模及び編成に当たっての基本的な考え方についてご説明申し上げます。

本市の一般会計予算編成につきましては、新市建設計画の基本方針に基づき理念のもと、新市の目指すべき方向性と市民が夢と誇りを持つことができる地域づくりのために、地域力を生かして自立するまち、豊かな自然と共生する調和したまち、健康で安全な食の産地、市民と行政の協働でつくるまちを将来像とした考えのもと編成することが求められます。

本来ならば、市長としての考え方や施策を予算として反映しなければならぬところではありますが、合併後の最初の市長としての役割は、旧町で継続的に実施されていた事業、合併協議会で協議・確認されていた事項等を実施することが第一と考え、そのための予算編成にしており、そのことをご理解いただきたいと思います。